

9. 虹色のシンフォニー

◎参加人数

弦楽四重奏 QSP を中心に音楽科の学生 13 名

顧問 菊池恭江(音楽科教授)

協力

- ・えぞこ♪弦楽団
- ・宮城学院附属音楽教室 早坂理恵先生
- ・尚綱音楽教室 熊井雅美先生
- ・アポロ音楽院 小澤牧子先生
- ・平松典子先生
- ・ハーモニーパークピアノ教室 後藤敦子先生
- ・小田島七重先生
- ・宮城学院音楽教室 庄司恵子先生

◎活動の趣旨・発足経緯

宮城学院附属音楽教室の手伝いや、文化事業団の参加型コンサート、街かどコンサート 100 人弦合奏に参加し、私たちにも音楽を学ぶ子供たちと一緒に何かできないかと思った。

そこで子どもたちへの演奏チャンスを広げ、そして希望を与えることが出来るようなコンサートを開催しようと思った。

弦楽四重奏 QSP を母体とした弦楽オーケストラと、仙台市内外で音楽を学んでいる小さな音楽家たちが、共に音楽を楽しむ！という趣旨のコンサートを企画した。

音楽の道を志す小さな音楽家の皆さんや音楽教室の先生方、地域の皆さんとの交流を持つ場を私たち自身の手で作る。

◎活動内容

◆2013 年 8 月 26 日

戦災復興危険会館記念ホールにて

演奏会「虹色のシンフォニー」開催

演奏だけに留まらず、ソリスト・弦楽オーケスト

ラメンバー・スタッフの募集、会場の手配、印刷物・楽譜の手配、著作権協会ジャスラックへの申請、広報など企画から運営、そして演奏にいたるまで、総合的に 1 つのコンサートをプロデュースすることを目的とした。また、私たちの演奏形態である弦楽オーケストラでの伴奏という形は既存の曲が少ない為、自分たちで編曲をし、私たち独自の音作り、演奏を目指した。

先輩音楽家である多くの先生方と交流をもてたこと、えぞこ♪弦楽団という他団体からの演奏協力が得られたこと、音楽を共有することによってコミュニティを広げられたことに加え、当日は音楽関係者だけではなく、100 名を超えるたくさんのお客様が来てくださった。ソリストの子どもたち、先生方、地域の方々との交流から、私たち自身の視野も広げることが出来た。



虹色のシンフォニーでご縁のあった、音楽教室の先生の発表会で、虹色のシンフォニーの 1 部再演の機会も頂き、つながりを感じる事が出来た。



9. 虹色のシンフォニー

◎活動を通して

コンサートの企画運営は初めての経験であり、何から手を付けたらよいか等わからない事がたくさんあったが、先生方や先輩方の助言のもと乗り切ることが出来た。活動する仲間の力が存分に発揮できるように、互いをよくわかりあう事が必要だと感じた。私たちは弦楽四重奏の4名が最小メンバーとなり、それぞれに代役はいないということである。

音楽を学ぶ子どもたちや先生方から再演を求める声が多くよせられ、またお客様からもたくさんの励ましをいただき、私たち自身の音楽活動にも多くの意味をもたらす結果となった。

今後も継続的に演奏活動を続け、地域の方々と交流を大切にしながら、音楽活動からの地域への還元に努めていき、特に子どもたちへの音楽活動には力を注ぎたい。

また私たちが先輩音楽家や先生方から、多くのチャンスももらい、指導を頂いたように、音楽を志す小さな音楽家たちへの演奏チャンスも広げ、希望を持って音楽の道に進める様な音楽環境の充実のお手伝いが出来ればと思う。そして、演奏だけではなく、子どもたちが本物の音楽に触れる機会がより多く設けられるよう、先輩方にもお力をお貸しいただきながら、発展的な活動にしていきたい。

